

全校朝会での話（改めて子供たちにこのような事を話しています）

6月、7月は、自然の環境もあるのでしょうか（高温・多湿になってきますね）少し、いさかいの多い月であると感じています。そこで、以下のような話を子供たちにしています。

この話は、今の子供たちに向けての話でもありますし、デジタルの時代に生きていく将来の子供たちに向けての話でもあります。今の時代において、大人の社会であっても、SNS などでの問題は、多発しています。大人も子供もみんなが、みんな幸せに暮らすことを願って、子供たちに話した内容です。

ことばは、思っていることや考えていることを伝える便利な道具です。昔から日本には「言霊（ことだま）」ということばがあります。ことばには力があるということを意味しています。

ことばの力の1つ目は、自分がしてみたいこと、目標を叶えたいとき、そのことを口にしていると叶いやすくなるという力です。「～する」と自分の目標を口にしながら続けると夢は叶いやすいものです。（心理学では「予言の自己成就」というそうです。）学校の目標、学級の目標、自分の目標、皆さんの周りにはたくさんさんの目標がありますね。その目標は、決めて終わるのではなく、口にしたり書いたり、時々ふりかえったりすることが、その目標を叶えることにつながります。ことばの力を信じて、あきらめず目標を何度も口にしてみましょう。すると皆さんの行動が変わります。そして、きっと、皆さんの目標は叶うでしょう。

ことばの力の2つ目は、ことばによって勇気をもったり元気をもらったりするという力です。明るいことば、元気の出ることばを使うと思考もポジティブになります。ことばの力を信じて、元気の出ることばをたくさん使いましょう。

しかし、一方では、ことばには力があるので、使い方を間違えると、ことばで人を苦しめてしまうこともあります。残念なことです。世の中にはSNSなどで簡単に人を非難したり、悪く言ったりする人もいます。また、自分ではどうしようもないこと（髪質や体型など）を攻撃したり、相手の人そのものを否定するようなこと（バカ、死ねなど）を言ったりして攻撃したりする人もいます。また、確かでない噂話を広めてしまい、何もしてない人を苦しめることもあります。（これは、子供があるがゆえに、ものの因果関係の理解の不足や、言葉の意味するところを十分理解していないことも原因にあげられます。大人と子供では、意図するところが違うこともあります。しかし、大人になって同じことをするようでは困ります。家庭、地域、学校で子供たちに教えていきましょう。家庭、地域、学校のどこか一つが指導するのでは効果は限定的です。みんなで、教えていきましょう。）

人を攻撃することばは、人を苦しめ、時には人を死なせてしまうこともあります。間違った使い方をすると、ことばの力は、とても危険です。

ことばの力を信じ、「ことば」を正しく使いましょう。人を元気にする、人を幸せにすることのできることばを使えるようになりましょう。そして、皆さんの口から出たことばを一番近くで聞いているのはだれかを忘れないようにしましょう。皆さんの口から出たことばを一番近くで聞いているのは、自分です。ことばを大切に人は、自分を大切にすることができます。ことばは人だけでなく、自分も大切にすることができます。

「ねばり強く」「がまん強く」「みんなを大切に」頑張りましょう。

※ 以前同じものを出しています。最近の社会でのニュースを受け、幾分直しています。

校長 前田